

小高連携「おもしろ理科教室」

「つくってわくわく 飛ばして学ぼう 熱気球のしくみ」

10月29日（火）午後

本校総合科学コースの2年生が、福崎町内の4つの小学校（福崎小学校、田原小学校、八千種小学校、高岡小学校）の6年生を対象に、理科の実験教室を行いました。本校生徒が先生役になって、小学生に熱気球のしくみを説明し、一緒に作業しました。気球を飛ばした時には、教室中に歓声があがり、とても盛り上がりました。小学生にとっても本校生徒にとっても、有意義な経験になりました。

<生徒の感想より>

- いつもは教えてもらう側だったけど、教える側になり分かりやすく説明する難しさがわかりました。失敗することもあったけど、気球を飛ばすこともでき、とても良い経験ができました。
- 最初はどうか教えてほしいのかわからず戸惑いましたが、小学生の子が楽しそうにしてくれたので楽しく授業ができました。貴重な体験ができて良かったです。
- 自分が小学生の時に高校生にしてもらった実験を自分たちが教える側で行ったのは感慨深かったです。教えることやコミュニケーションの取り方の難しさなどがわかりとても良い一日になりました。
- 小学生に喜んでもらえて嬉しかったです。小学生の素直な反応があり、気球が飛んだときのとびっきりの笑顔と飛ばなかったときの残念な表情が印象に残りました。



高校生が先生役をして、作り方や気球の仕組みを説明しました。



気球づくりを高校生が教えています。



難しいところは高校生のお兄さんが丁寧に指導します。



最後はみんなで気球を上げました。上がったときは歓声が上がりました。